

カリキュラム修正・作成にあたってのポイント（for 学年末）

目的：フリーステップでは「発問」「宣言」「逆算」の授業を売りにしています。その中の逆算とは「志望校合格や定期テストの目標点と生徒一人一人の学力状況からいつまでに何をしなければならないかを逆算してカリキュラムを立てる。」ことです。これはホームページに記載されています。しっかりとカリキュラムを逆算して作っていき、生徒の点数を上げていきましょう。

期限：12月16日の土曜日

作成手順：今回は学年末テストに向けての想定で記します。

1. 2学期期末テストの答案分析を行う。
2. テスト（定期テストや入試）までにあと何回授業があるのかを数える。
3. その日数内で何を伸ばすかを考える。
4. 適切な難易度の教材の選択をする。
5. ターゲットで「学年末テスト」を選び、1,2,3,から考えられる、すべき単元を選ぶ。
6. 教材選択では「メイン」に授業で扱うもの。「補助」に宿題や小テストで扱うもの。
7. (+ α で、備考欄にその授業の「目的、教材、授業の流れ、宿題で何をだすか、小テスト、注意点、作成者」なども書いておくと引継ぎがかなりしやすい。)

※7は強制しません。おすすめはします。

※今回中3生に関しては、12月中（無理ならなるべく早く）に3学期内容を終わらせてください。過去問演習の際に解けなくなってしまうためです。

よくあるミス

- ・単元数が異常に多い。
- ・扱うつもりのないものが設定されている。
- ・前学期のものを消している。

修正手順：テストが終わってしまった過去のものは修正しなくて大丈夫です。今回記す

修正とはテストが近づくにつれて範囲や学校の進度により、途中でカリキュラムの修正

の必要性があった場合です。

1. 再度逆算して残り日数でやるべきことが終わるのかを確認
2. 終わらないのであれば、どこを宿題や自習にまわし、どこを授業で扱うのかを決め、

扱うつもりのないものは単元から消し、宿題や自習で扱うこととする。

3. 1, 2 を日々の中で繰り返す。

最後に

まずは学年末テストのカリキュラムを適切に作っていきましょう。また、塾の授業だけでなく、学校の提出物をいつまでに終わらせるのか、定期テストの勉強をいつから始めるのかなど様々なところで逆算して一緒に決めてあげてください。

1 回生や新人講師の方も今回で作るのに慣れて、来年度の一学期中間テストから、自分で作れるように頑張ってください。CL の方々は作成の仕方が分からない講師に教えてあげてください。

適切に作れていると、進捗率が大体 80%~100%の間くらいで終わるかと思います。また学年末テストが終わったときに確認してみてください。